

社協だより5 ONAGAWA

MAY. 2018

「女川をふたたび桜咲き誇る町へ」 桜の樹を植える人々

女川の町の花は桜であることをみなさんご存じでしょうか。震災前、町内各所にたくさんの桜の樹があり、季節を彩ってきました。

旧第二保育所跡地の津波桜「（通称）さくらたん」の保護から活動を始めた女川桜守りの会では、鎮魂の徵、そして復興の証となる「十万本の桜計画」として、女川がふたたび桜の咲き誇る町になることを願って植樹活動を続けています。

かつて女川駅の線路沿いに桜の並木がありました。駅びらきを果たした2015年3月から、線路沿いの桜並木を復活させる「千年のさくら並木」の植樹活動も行っています。

2018年3月11日（日）鎮魂の日に行われた3回目となる桜並木の植樹活動では、近くにお住まいの女川北区の方々を中心に、たくさんの住民の皆さんのが集まりました。

植えた桜が大きくなり、咲き誇るまでには長い年月を要します。桜の成長を日々見守りながら、後世のために桜を植え続ける女川桜守りの会と住民の皆さんのは思いはきっと千年先まで届くことでしょう。



平成30年度 事業計画と一般予算のあらまし



平成30年度がスタートいたしました。昨年度は、地域に『生活支援コーディネーター』と呼ばれる職員が配置となり、皆さんの地域におじゃまし地域づくりのサポートをさせていただきました。
今年度は、次のとおり基本方針を掲げ、以下の事業に取り組んで参ります。

《 基本方針 》

本会が策定した「第4次女川町地域福祉活動計画」は、女川町が策定した「女川町地域福祉計画」と一体的に推進していくために、「一人ひとりの幸せが 地域の支え合いとつながりで実現するまち おながわ」を共通の基本理念としております。

第4次女川町地域福祉活動計画は、地域や住民が主体となり、共に参加し・支え合いながら身近な問題の解決に向け、よりよい地域社会の構築を目指すための4ヶ月の計画です。

本年度は、計画実施から3年目となり折り返しの時期となります。第4次女川町地域福祉活動計画に定める3つの基本目標において、これまで重点的に取り組んできたことを基礎とし、今後は、いつまでも地域で住み続けるために1人の問題を『我が事』として捉え、話し合える土壌を作るとともに、複合的な課題を『丸ごと』受け止める場の構築を目指し、産学官民が共に歩みながら地域福祉力を高めていくことを目指します。

《 重点項目 》 1 地域コミュニティの活性化・支援 2 人材育成 3 総合相談体制の充実

《 基本目標 》

1 住民同士のつながりを深めます。 2 地域の福祉力を高めます。 3 地域での安心できる暮らしを支えます。

住民同士のつながりを深める事業

- ・住民交流の場の提供
- ・生きがいづくりの場の提供
- ・地域コミュニティの活性化・支援
- ・福祉関係団体への支援

地域での支えあいを高める事業

- ・福祉教育の推進
- ・人材育成
- ・地区座談会の実施
- ・福祉フォーラム等の開催
- ・福祉活動推進員の活動の推進
- ・助成金制度の周知を活用の促進

地域での安心できる暮らしを支える事業

- ・総合相談体制の実施
- ・民生委員児童委員との連携
- ・広報活動の充実
- ・権利擁護への理解の促進
- ・虐待の早期発見と関係機関との連携
- ・法人後見の充実
- ・生活支援サービスの利用促進
- ・ボランティアや住民の助け合いによる生活支援の展開
- ・生活困窮者に対する自立支援
- ・防災学習の推進
- ・災害ボランティアセンター運営体制の見直し

その他の地域福祉の事業・活動

- ・共同募金運動への協力
- ・その他、各種分野への取り組み

実施事業内容

一般会計予算のあらまし

収入合計	105,384,000円	支出合計	105,384,000円
------	--------------	------	--------------

事務局	51,332,000円
-----	-------------

*会費や寄附金・補助金や助成金など

事務局	51,332,000円
-----	-------------

*法人運営やその他各種事業を実施していくための費用

地域包括支援センター	30,075,000円
------------	-------------

*町からの受託金

地域包括支援センター	30,075,000円
------------	-------------

*地域包括支援センターを運営していくための費用

うみねこ園	17,837,000円
-------	-------------

*町からの障害福祉サービス等事業収入など

うみねこ園	17,837,000円
-------	-------------

*うみねこ園を運営していくための費用

生活支援体制整備事業	6,140,000円
------------	------------

*町からの受託金

生活支援体制整備事業	6,140,000円
------------	------------

*生活支援体制整備事業を運営していくための費用

収入合計 105,384,000円 – 支出合計 105,384,000円 = 0円
--

だより5月号 ボランティアセンター

ボランティアについての
問い合わせはこちらまで
53-4333
(担当・矢竹)

ボランティアしてみませんか？

～平成29年度ボランティア入門講座より～
ボランティアには4つの原則があると言われています。

1. **自発性** 義務や強制ではなく、自らの意思で行う活動
2. **社会性** 誰もが幸せに生き生きと暮らしていくための支え合いとなる活動
3. **創造性** よりよい社会を考え、作っていくための活動
4. **無償性** 金銭的・物質的な見返りを求める活動

すなわちボランティアとは、4つの原則によると、

自分の意志で	(自発性)
社会をよくするために	(社会性)
自ら考えた活動を	(創造性)
無償で行うこと	(無償性)



と言えるでしょう。

ボランティアしたい人をボランティアして欲しいひとに繋ぐことが、ボランティアセンターの大きな役割のひとつです。まずはボランティア登録していただき、ご要望に合った活動があれば随時紹介させていただきます。

また「社会を良くするために、自ら考えた活動」を実現させるお手伝いもできますので、そのような思いをお持ちの方もぜひお気軽にご相談下さい。

みなさんのご登録・ご相談をお待ちしています！

ボランティアに来てもらいたい場合は？

自分や家族の力では解決できない困りごと・悩みにボランティアの力でお手伝いできることがあるかもしれません。

また、ボランティアで対応できないようなことでも、様々な専門機関にお繋ぎすることで、解消できる場合もありますので、まずは気軽にご相談下さい。

来所でのご相談や電話でのご相談に加え、こちらから訪問することも可能です。



女川町復幸祭2018の車イス貸出し報告

3月25日（日）シーパルピア女川を会場に行われた「女川町復幸祭2018」における福祉対応として、ボランティアによる場内見回り・トイレ点検・車イスの貸出しを行いました。

大型イベントで車イスを貸出しする取り組みは、昨年9月のおながわ秋刀魚収穫祭から始まったばかりですが、今回会場マップにあらかじめ貸し出し場所を記したことや、看板を用意する等、周知を高めたことで、多くの方々に車イスを利用いただくことが出来ました。



イベントにも車イスが必要！

車イスの貸出しがあることで、車イスが必要な高齢者や障がいの方々がイベントを楽しめることに繋がります。車イス利用者が不便なく当たり前のようにイベント会場を行き来して、周囲のひとが適切に配慮することができれば、多様な人々が支え合う共生社会がイベントの中に実現したと言えるでしょう。

車イス置き場の横を通りすがりに「車イス貸出しがあれば、今度はおばあちゃんを連れて来れるね」と話されていた方がいらっしゃいました。また観客席脇の舞台の見えやすい位置で、貸し出し用車イスに座って、皆と一緒に嬉しそうにトーキショーを楽しんでいる方もいらっしゃったのです。

ボランティア行事保険 加入のご案内

行事単位で加入する保険で、行事の最中に起こった事故によるケガや賠償責任に対応するものです。一人あたり30円で加入することができます。

鳴り砂清掃ボランティア募集中！

おながわの鳴り砂を守る会主催の小屋取浜・夏浜の清掃活動に参加いただける方を募集しています。申込みはボランティアセンターまで。

日 程 5月29日(火)9時30分～
持ち物 飲料・昼食・軍手・帽子等

うみねこ園だより

石巻 ブルーに染まる！

毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とし、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等が全国的に行われます。

ご存知の方は少ないかもしれません、石巻市でも『ライト・イット・アップ・ブルー in 石巻』が4月2日～8日の期間で石ノ森萬画館を会場に行われ、うみねこ園でも参加してきました。

まずは、イラスト＆ワークショップへ。先生のお話を聞きながら、いろいろな色のクレヨンで、線を引いたり、絵を描いたり、色を塗ったり…無我夢中で取り組む姿が見られました。あとから、うみねこ園の利用者さんは全員上手だと先生からコメントもいただきました♪



ワークショップのあとは、外に出てティッシュを配る啓発活動。曇りがちの天気でお客様も多くはありませんでしたが、道行く人や、萬画館へのお客様に一生懸命配っていた利用者さんたちでした。

このような活動に参加するという意義は大きいと考えています。このイベント開催に関わる皆さんの温かさも感じることができました。



本日、映画を見る！



3月20日はうみねこ園にとっての初の試みとなる映画鑑賞へ、蛇田のイオンシネマに出かけました。

映画館へ向かう車中では、映画への期待なのか、みんなで行く楽しさからなのか、歌いだす利用者さんや、いつも増して冗談を言う利用者さんなど、既に楽しい雰囲気漂う利用者さんたち。

到着すると、それぞれ自分で選んだ飲み物を手に映画鑑賞がスタート。

作品は、「ドラえもん のび太の宝島」をチョイスしました。

はじめは大きな音に驚く利用者さんもありましたが、馴染みのあるドラえもんを大画面で鑑賞できたということもあり、席を立つ事もなく、笑い声をあげたり、驚きの声をあげたり…とみなさん楽しんだ様子。

今回の映画鑑賞は、映画を見るという目的だけではなく、楽しいなかにも社会のなかでルールを守るなど、五感を使って様々な経験となりました。

さて、次回はどの映画にしましょうか…。





5月12日(土)～18日(金)は 民生委員・児童委員の日 活動強化週間です。



現在、女川町には30名の民生委員・児童委員がおり、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために常に住民みんなの立場で生活や福祉に関する相談に応じています。

済世顧問制度に遡るこの100年間、民生委員は常に住民に寄り添い、その見守り役、相談役となって人々の安心、安全のために活動してきました。

100年続く民生委員制度をもっても、経済的困窮や社会的孤立、虐待、いじめ、非行など、地域住民が抱える課題は一層複雑・深刻化しています。それだけに、民生委員・児童委員は、これまで以上に地域住民の身近な相談相手として、幅広い関係者との連携・協働に基づく支援を進めていきます。

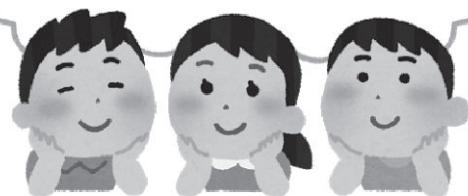
5月5日こどもの日から1週間は 『児童福祉週間』です。

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めています。この期間中は、児童福祉の理念を普及・啓発し、国民の児童に対する認識を深めるための週間として厚生労働省や全国の自治体などがさまざまな事業や行事を行っています。

その事業の一環として、厚生労働省では「児童福祉週間」の標語を毎年募集しており、平成30年度は全国から9,720作品の応募があり、審査の結果、伊藤(いとう)里空乃(りくの)さんの作品が最優秀作品に選ばれました。8才の里空乃さんが感じたこの「想い」を、私たち大人は心に刻み、子ども達の健やかな成長のために力を合わせていかなければならない…と思う、そんな標語ですね。今後、この標語は、児童福祉週間の象徴として広報・啓発ポスターをはじめ、全国各地で実施される事業や行事などで幅広く活用される予定です。

あと一歩 力になるよ その思い

千葉県 伊藤里空乃さん（8才）



針浜で畠仲間を募集中！

針浜の山側奥にある自然豊かな農地で、無農薬の野菜づくりをしている方々がいます。

このたび新たな仲間を募集することとなりました。初心者の方でも丁寧に指導していくだけますので、野菜づくりをやってみたい方はぜひ参加をご検討下さい。

区画を分け合い、無理のないペースで取り組むことが出来ます。（賃料・会費無料）

人や自然と関わりながら、自分の手で安全な野菜を作り、食べる喜びを分かちあう野菜づくりに、皆さんも参加を検討してみてはいかがでしょうか。



申込み先

女川町社会福祉協議会
☎ 53-4333
(担当:矢竹)

永楽会の地域交流スペースをご利用下さい

永楽会特別養護老人ホームおながわには、地域の皆様が自由に利用できる交流スペースがあります。地域住民のために開放されている各種スペースをぜひ積極的にご活用下さい。

①ギャラリー

サークルや個人での絵画、写真、作品等のあらゆる展示を無料で行なっています。出展者も随時募集しています。

②おもちゃ美術館

木のぬくもりを感じられる珍しいおもちゃがいっぱい置いてあります。子どもたちが楽しく遊べる場所です。

③阿部とうふや支店

お菓子や飲み物、子どもたちのために駄菓子も数多く揃えてあります。

[【永楽会地域交流スペース図】](#)

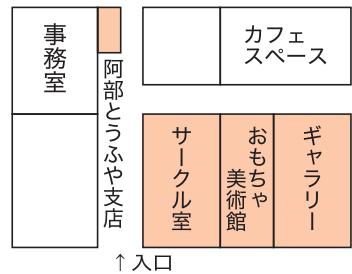
④サークル室

趣味のサークル活動・子ども会行事・ママ友の交流会・地域や職場の活動や会議等に無料で利用できます。※要予約

利用時間：毎日9時～17時

連絡先：永楽会おながわ

☎ 53-5181 (担当:佐藤・澤口)



皆様の善意に感謝申し上げます

(3月11日～4月10日受付分)

寄附金（敬称略）

単位：円

行政区	氏名	金額
上五	熊谷ヨリ子	5,000
石浜	遠藤和宏	20,000
	一小仮設住宅自治会	35,375
石巻市	国際ソロプロミスト石巻サン・ファン	50,000
東京都	株式会社ブリッジ	25,000
愛媛県	社会福祉法人松前町社会福祉協議会	55,209
愛媛県	川之石の愛をつたえ隊	8,000

よりよい地域をつくるために

(3月11日～4月10日受付分)

賛助会費（敬称略）

行政区	氏名
針浜	木村ヨミ
上三	須田年春
上四	朝倉敬悦
大原南	安倍ことみ
大原南	平山トキ子

女川町ひとり親家庭福祉会

(会長：金山末子)



ひとり親世帯が増加の一途を辿る今日、就労などの面では生活のなかに不自由さを抱えるひとり親世帯が多いのが現状です。女川町内をみると、ひとり親世帯が親世帯と同居している世帯も多く見られ、比較的子育ての面では、サポートが受けられる状態であるようですが抱える悩みはやはり多いようです。



女川町ひとり親家庭福祉会では、平成25年度に「母子寡婦福祉会」から「ひとり親家庭福祉会」に名称を変更し、母子家庭のみならず父子家庭の方にも入会いただき活動を行っています。主に、親子旅行・レクリエーションや研修会の開催、また、宮城県母子連合会主催の就労に役立つ資格取得のための講座開催等の情報提供もしております。

会費は1,000円となっています。入会を希望される方や本会の活動にご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

事務局 女川町ひとり親家庭福祉会 TEL 0225-53-4333

ゆぽっぽ健康講話『何でも健康相談会』

日 時 5月15日(火) 16:00～17:00 場 所 ゆぽっぽ2階休憩室

毎月第3火曜日は、女川町地域医療センター医師が健康に関する相談に応じます。

当日は、健康相談会にお越しいただいた方は、**入浴料500円→250円**とお得に入浴できます。みなさん、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。

女川温泉ゆぽっぽ TEL.0225-50-2683 (営業時間：9:00～21:00)

※町民バス回数券フロントにて好評発売中！

5月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については 地域遊びリテーション ・ふまねっと となります。

地区	日時	地区	日時	地区	日時
大沢	14日 13:30	上四	10日 13:30	石浜	7日 9:30
浦宿一	8日 13:30	上五	7日 13:30	大原南	16日 9:30
浦宿二	9日 13:30	西二	22日 13:30	女川南	28日 9:30
浦宿三	9日 9:30	運動公園住宅	お休み	女川北	8日 9:30
針浜	21日 13:30	清水(仮設・日蕨含)	15日 13:30		
旭が丘	お休み	小乗	14日 9:30		
上三	23日 13:30	宮ヶ崎	21日 9:30		

